

こえに だして よみましょう。

## あし ①

にいみなんきち  
新美南吉

二ひきの馬うまが、まどのところぐうるとひるね  
をしていました。

すると、すずしい風かぜがでてきたので、一いっぴきがくし  
やめをしてめをさしました。

ところが、あとあしがいっぽんしび  
れていたので、よろよろとよろけてし  
まいました。

「おやおや。」



そのあしちからに力をいれようとしても、さっぱりはい  
りません。

そこでともだちの馬うまをゆりおこしました。

「たいへんだ、あとあしをいっぽん、だれかにぬすま  
れてしまった。」

「だって、ちゃんといっているじゃないか。」

「いやこれはちがう。だれかのあしだ。」